

令和5年度北信越高等学校体育大会
 第56回北信越高等学校選手権水泳競技大会
 兼第91回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会

大会実施要項

主催 北信越高等学校体育連盟・(公財)日本水泳連盟
 共催 石川県教育委員会・福井県教育委員会・(公財)石川県スポーツ協会・(公財)福井県スポーツ協会・
 金沢市教育委員会・福井市教育委員会
 後援 北國新聞社
 主管 石川県高等学校体育連盟・福井県高等学校体育連盟・(一社)石川県水泳協会・(一財)福井県水泳連盟・
 石川県高等学校体育連盟水泳専門部・福井県高等学校体育連盟水泳専門部

- 1 期 日
- | | | | |
|---------|-------|--------------|----------------|
| (1) 開会式 | 競泳・飛込 | 令和5年7月21日(金) | 9時30分 |
| | 水球 | 令和5年7月15日(土) | 9時30分 |
| (2) 競技 | 競泳 | 令和5年7月21日(金) | ～ 23日(日) (3日間) |
| | 飛込 | 令和5年7月22日(土) | ～ 23日(日) (2日間) |
| | 水球 | 令和5年7月15日(土) | ～ 16日(日) (2日間) |
| (3) 閉会式 | 競泳・飛込 | 令和5年7月23日(日) | 15時00分(予定) |
| | 水球 | 令和5年7月16日(日) | 14時30分(予定) |

2 会 場

【開会式・競技・閉会式】

競泳・飛込 金沢プール 石川県金沢市磯部町ハ55番地 TEL 076-251-3535 FAX 076-251-3536
 〒920-0012
 水球 福井県営水泳場 福井県福井市福町3-20 福井運動公園事務所 TEL0776-36-1542 FAX0776-36-1542
 〒918-8027

3 競技種目

種 目	男 子	女 子	
競 泳	自由形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
	背泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	平泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	バタフライ	100m 200m	100m 200m
	個人メドレー	200m 400m	200m 400m
	フリーリレー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
メドレーリレー	4×100m	4×100m	
飛 込	飛板飛込	10演技種目 制限選択飛5演技 (各群より難易度合計9.5以内) 自由選択飛5演技 (各群より) 競技方法・・・参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選5演技 自由選択飛5演技 ・決勝10演技 制限選択飛5演技 自由選択飛5演技	9演技種目 制限選択飛5演技 (各群より難易度合計9.5以内) 自由選択飛4演技 (異群より) 競技方法・・・参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選4演技 自由選択飛4演技 ・決勝9演技 制限選択飛5演技 自由選択飛4演技
	高飛込	9演技種目 制限選択飛4演技 (異群より難易度合計7.6以内) 自由選択飛5演技(異群より) 競技方法・・・参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選5演技 自由選択飛5演技 ・決勝9演技 制限選択飛4演技 自由選択飛5演技	8演技種目 制限選択飛4演技 (異群より難易度合計7.6以内) 自由選択飛4演技(異群より) 競技方法・・・参加者が16名以上の場合は 予選・決勝に分けて行う。 ・予選4演技 自由選択飛4演技 ・決勝8演技 制限選択飛4演技 自由選択飛4演技
(注) 決勝は予選12位までのもので行う。(12位が同点で2人以上出た場合は12人以上になることもある。) 決勝の自由選択飛は、決勝における自由選択演技種目は、予選終了後30分以内であれば変更を認 める。決勝における順位は、決勝の得点合計により決定する。			
水 球	参加チーム数により対戦形式を決定し、その競技方法により順位を決める。		

4 競技日程

(1) 競 泳

第1日 7月21日(金) 競技開始 10時10分

1	女子	200m背泳ぎ	(予選)	11	女子	200m背泳ぎ	(決勝)
2	男子	200m背泳ぎ	(予選)	12	男子	200m背泳ぎ	(決勝)
3	女子	400m自由形	(予選)	13	女子	400m自由形	(決勝)
4	男子	400m自由形	(予選)	14	男子	400m自由形	(決勝)
5	女子	200mバタフライ	(予選)	15	女子	200mバタフライ	(決勝)
6	男子	200mバタフライ	(予選)	16	男子	200mバタフライ	(決勝)
7	女子	200m平泳ぎ	(予選)	17	女子	200m平泳ぎ	(決勝)
8	男子	200m平泳ぎ	(予選)	18	男子	200m平泳ぎ	(決勝)
9	女子	4×100mフリーリレー	(予選)	19	女子	4×100mフリーリレー	(決勝)
10	男子	4×100mフリーリレー	(予選)	20	男子	4×100mフリーリレー	(決勝)

昼 食

[競技終了予定 17時30分]

第2日 7月22日(土) 競技開始 9時15分

21	女子	200m個人メドレー	(予選)	33	女子	800m自由形	(タイム決勝)
22	男子	200m個人メドレー	(予選)	34	女子	200m個人メドレー	(決勝)
23	女子	100m自由形	(予選)	35	男子	200m個人メドレー	(決勝)
24	男子	100m自由形	(予選)	36	女子	100m自由形	(決勝)
25	女子	100mバタフライ	(予選)	37	男子	100m自由形	(決勝)
26	男子	100mバタフライ	(予選)	38	女子	100mバタフライ	(決勝)
27	女子	100m背泳ぎ	(予選)	39	男子	100mバタフライ	(決勝)
28	男子	100m背泳ぎ	(予選)	40	女子	100m背泳ぎ	(決勝)
29	女子	100m平泳ぎ	(予選)	41	男子	100m背泳ぎ	(決勝)
30	男子	100m平泳ぎ	(予選)	42	女子	100m平泳ぎ	(決勝)
31	女子	4×200mフリーリレー	(予選)	43	男子	100m平泳ぎ	(決勝)
32	男子	4×200mフリーリレー	(予選)			休 憩	
				44	女子	4×200mフリーリレー	(決勝)
				45	男子	4×200mフリーリレー	(決勝)

昼 食

[競技終了予定 17時00分]

第3日 7月23日(日) 競技開始 9時15分

46	女子	50m自由形	(予選)	54	男子	1500m自由形	(タイム決勝)
47	男子	50m自由形	(予選)	55	女子	400m個人メドレー	(決勝)
48	女子	400m個人メドレー	(予選)	56	男子	400m個人メドレー	(決勝)
49	男子	400m個人メドレー	(予選)	57	女子	50m自由形	(決勝)
50	女子	200m自由形	(予選)	58	男子	50m自由形	(決勝)
51	男子	200m自由形	(予選)	59	女子	200m自由形	(決勝)
52	女子	4×100mメドレーリレー	(予選)	60	男子	200m自由形	(決勝)
53	男子	4×100mメドレーリレー	(予選)			休 憩	
				61	女子	4×100mメドレーリレー	(決勝)
				62	男子	4×100mメドレーリレー	(決勝)

昼 食

[競技終了予定 14時30分]

(2) 飛 込

第1日 7月22日(土) 競技開始 9時30分

1	男子	飛板飛込	(予選・決勝)	2	女子	飛板飛込	(予選・決勝)
---	----	------	---------	---	----	------	---------

第2日 7月23日(日) 競技開始 9時45分

3	男子	高飛込	(予選・決勝)	4	女子	高飛込	(予選・決勝)
---	----	-----	---------	---	----	-----	---------

*競技運営上、時間を変更する場合があります。

(3) 水 球

第1日 7月15日(土) 9時30分～17時00分 予定

リーグ戦またはトーナメント戦

第2日 7月16日(日) 9時30分～14時00分 予定

リーグ戦またはトーナメント戦

[時間的余裕があれば女子のエキシビジョンを入れる]

- 5 競技規定
2023年度(公財)日本水泳連盟競技規則による。
- 6 競技方法
学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は以下による。
- (1) 競 泳
個人種目は1位8点, 2位7点・・・8位1点。リレー種目は1位16点, 2位14点・・・8位2点とし、(個人種目・リレー種目とも、同着の場合は、その順位の得点をそれぞれが得るものとする)総合得点の最も多い学校を優勝校とする。
総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。
ア リレー種目による得点の多い学校
イ 入賞者数の多い学校 (ただし、リレー種目は4と計算する)
ウ 1位の数
エ 2位の数 (以下、8位までこれにならう)
- (2) 飛 込
各演技種目は1位8点, 2位7点・・・8位1点とし、総合得点の最も多い学校を優勝校とする。
なお、総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。
ア 入賞者数の多い学校
イ 1位の数
ウ 2位の数 (以下、8位までこれにならう)
エ 当該入賞者の得点の平均点が高いもののある学校
(得点の平均点は演技数で割ったもので、小数第3位を四捨五入して少数第2位まで算出する。)
オ 当該入賞者の得点の中で1演技について最も高い数値を得たもののある学校
- (3) 水 球
ア 試合形式
全試合リーグ戦方式とする。
イ 試合方法、勝敗、順位の設定(WAの決定方法を採用)
①勝ち3, 負け0, 引分け1点として順位を決定し、延長戦は行わない。
②リーグ内で勝ち点が同点の場合、順位の設定方法は、「水球ハンドブック」(公財)日本水泳連盟発行の「リーグ戦におけるタイブレーク方式について」を参照すること。なお、棄権は0-20で敗戦とする。
ウ 競技時間は、正式時間を採用する。
エ 競技に使用するボールは、男子は(公財)日本水泳連盟一般男子公認球とする。
オ 組み合わせ抽選会
令和5年7月3日(月)午後3時より、金沢市立工業高等学校にて行う。
- 7 引率・監督
(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、各県高体連会長に事前に届け出る。
(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
但し、各県における規定があり、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- 8 参加資格
(1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
(2) 選手は北信越5県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該種目の大会実施要項により大会参加資格を得たものに限る。
(3) 上記(1)(2)に定める生徒で、次の条件を満たしていること。
ア 競泳は各県大会の成績で、各種目決勝第8位までの入賞者、及び予選・決勝を問わず全国大会の標準機録を突破した者は、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。(個人種目はフラットレースで突破しなければならない。)
ただし、男子1500m自由形及び女子800m自由形は決勝8位までの入賞者で、参加制限記録は男子1500m自由形は19分55秒19、女子800m自由形は10分48秒59とする。各リレー種目はフリーリレーは資格取得者を含め6名(補員は2名まで)、メドレーリレーは資格取得者を含め8名(補員は4名まで)を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目または他のリレー種目に出場する者に交代させることができる。
イ 飛込は(公財)日本水泳連盟の各県加盟団体の推薦を経て申し込むものとする。
ウ 水球は各県4位以内のチームで、各県加盟団体の推薦を経て申し込むものとする。
(4) 年齢制限
出場選手は平成16(2004)年4月2日以後に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
①「出場」とは登録エントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。
※ベンチに入ることは「出場」とみなす。
②大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
(5) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6) 複数校合同チームの大会参加を認める。全国高等学校体育連盟の定める規定による。(水球)
都道府県高等学校体育連盟会長による予選会から参加が認められた場合、
詳細は、全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
(7) 転校・転籍後1年未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。大会開始前のエントリー変更期限前に1年が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
(8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する各県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(9) 参加資格の特例

ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、全国高等学校総合体育大会開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に従い大会参加を認める。

イ 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【参加資格の別途に定める規定】

1 学校教育法第72条、115条、124条、134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

ア 本連盟の目的を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあつては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加制限

(1) 競泳

1校1種目3名以内、1名2種目以内(ただし、リレーは除く)とする。

各リレー種目はフリーリレーは資格取得者を含め6名(補員は2名まで)、メドレーリレーは資格取得者を含め8名(補員は4名まで)を申し込むことができる。ただし、申込については出場資格を得た4名を必ず含めること。

(2) 飛込

1校1種目3名以内とする。

(3) 水球

1チーム監督1名、選手13名、マネージャー1名とする。なお、エントリーには補員2名まで申し込むことができる。

10 申込方法

(1) 申込様式

第1号様式 種目別参加選手一覧表……………男女各2枚(A3)

第2号様式 学校長出場認知書……………男女各1枚(A3)

第3号様式 宿泊・弁当申込書……………1通(A4)

第4号様式 各県参加学校別一覧表……………競泳・飛込・水球各1通(A3)

※ この他、競泳についてはリザルトシステムによる県大会結果のバックアップファイルをメールで送付するとともに、別途指定の宛先まで同ファイルを電子メールで送ること。

※ 飛込についてはWeb-SWMSYSによるエントリーを行い「エントリー集計表」(その集計・印刷した書類)も送付する。

※ 水球については、参加選手一覧表のファイルを別途指定の宛先まで電子メールで送ること。

(2) 飛込演技種目申込手続きについて

飛込参加者は、所定のダイブシートに自分が行おうとする飛込演技種目の番号、型、飛板又は台の高さ、難易度を記入してそれぞれの当該競技の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドの「ダイブシート入れ」の箱に投函すること。なお、予選用及び決勝用を必ず同時に提出すること。

(3) 申込先 第56回北信越高等学校選手権水泳競技大会事務局(競泳・飛込・水球)

〒920-0344

石川県金沢市畷田東1-1-1

金沢市立工業高等学校 北信越総体担当 中野克也 宛

TEL: 076-267-3101 FAX: 076-267-3102

e-mail nakano@shiko-th.ed.jp

※ 第1、4号様式は各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)にて作成し、すべて上記の申込先に送付すること。

※ 第2、3号様式は出場校にて作成し、各県高体連水泳専門部委員長がとりまとめ、上記の申込先に簡易書留(レターパック可)で送付すること。

(4) 参加料

競泳・飛込 1名につき 2,000円(リレー補員を含む)

水球 1チームにつき 20,000円

(5) 振込先

振込先の金融機関名、口座番号等は参加料の取りまとめを行う各県委員長へ別途通知する。

(6) 申込締切 令和5年6月29日(木) 正午必着(簡易書留(レターパック可))

11 表彰

優秀な成績を収めた以下の者を表彰する。

(1) 競泳

- ◇個人 ……男女とも各種目8位までの者に賞状を与え、3位までを表彰する。
リレー種目3位までのチームについては、泳者4名にも賞状を授与する。
- ◇総合成績 ……男女別にそれぞれ8位までの学校を表彰する。
優勝校には(公財)日本水泳連盟競泳トロフィーを授与する。

(2) 飛込

- ◇個人 ……男女とも各種目8位までの者に賞状を与え、3位までを表彰する。
- ◇総合成績 ……男女別にそれぞれ3位までの学校を表彰する。
優勝校には(公財)日本水泳連盟飛込優勝旗を授与する。

(3) 水球

- ◇チーム ……4位まで表彰する。優勝校には(公財)日本水泳連盟水球トロフィーを授与する。
優勝校のみ、エントリーメンバー13名にも賞状を授与する。

12 宿泊・弁当

(1) 宿泊料金 1泊2食 11,000円(税込)を上限とし、三段階程度の設定とする。(予定) 昼食弁当 850円(税込)

(2) 申込方法

- ア 別紙の宿泊・弁当申込要項に則り、第3号様式(宿泊・弁当申込書)を1通を作成し、各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)まで申し込むこと。
- イ 各県高等学校体育連盟水泳専門部(委員長)が一括、書留郵便にて10.(3)の申込先に送付すること。
- ウ 宿泊決定後の人数等の変更については、要項に則り、各学校申込責任者が配宿担当業者と連絡をとること。

13 諸会議

(1) 監督者会議

- ◇競泳 7月20日(木) 16時00分～ 金沢プール2階スタンド
- ◇飛込 7月21日(金) 16時00分～ 金沢プール ダイビングプール横 大会控室
- ◇水球 7月14日(金) 16時00分～ 福井県営水泳場 競技役員室

(2) 代表者会議

7月21日(金) 競技終了後 アパホテル金沢駅前

14 練習会場

	水球	
	メインプール	
7月14日(金)	開門 12:30 13:00	～ 18:00
7月15日(土)	開門 7:30 7:30	～ 18:00 本プールは競技のない時間帯
7月16日(日)	開門 7:30 7:30	～ 14:30 本プールは競技のない時間帯

	競泳		飛込	
	メインプール		サブプール	
7月20日(木)	開門 12:30 13:00	～ 15:45	開門 12:30	13:00 ～ 18:00
7月21日(金)	開門 7:30 7:30	～ 9:15 競技終了～ 18:00	開門 7:30 7:30	～ 18:00
7月22日(土)	開門 7:30 7:30	～ 9:00 競技終了～ 18:00	開門 7:30 7:30	～ 18:00 ただし、競技のない時間帯
7月23日(日)	開門 7:30 7:30	～ 9:00	開門 7:30 7:30	～ 13:00 ただし、競技のない時間帯

15 大会期間中の本部

7月20日(木)～7月23日(日)

競泳 飛込 水球	昼間	金沢プール	金沢市磯部町ハ55番地	TEL 076-251-3535
	夜間	アパホテル金沢駅前	金沢市広岡1丁目9-28	TEL 076-231-8111

7月14日(金)～7月16日(日)

競泳 飛込 水球	昼間	福井県営水泳場	福井県福井市福町3-20	TEL 0776-36-1542
	夜間	ホテルフジタ	福井市大手3丁目12-20	TEL 0776-27-8811

16 交通機関

競泳 飛込	IRいしかわ鉄道 東金沢駅	自動車 金沢駅から約10分 / 北陸自動車道 金沢東ICから約5分 バス JRバス 金沢駅西口8番乗り場より「城北市民運動公園」行きに乗車(乗車時間 約13分、運賃220円) 最寄り駅から徒歩 IRいしかわ鉄道 東金沢駅から徒歩で約15分 / 北陸鉄道浅野川線 磯部駅から徒歩で約15分
水球	JR西日本 福井駅	自動車 福井駅西口から約15分 / 北陸自動車道 福井ICから約30分 バス JR福井駅西口バスターミナル 4番南西方面乗場 70運動公園線(道守高校先回り)運動公園南門下車(約20分)

17 連絡事項

- (1) 本大会は、有観客で実施する。ただし、観客用の駐車場はありません。(選手、競技役員専用)
顧問・コーチのADカードの交付を受けたもののプールサイドへの入場を認める。受付でコーチ用のADを発行します。名刺を持参して受付で提示し、名刺をADカードに入れて下さい。
- (2) 駐車場の台数に限りがあります。本大会の会場へのお越しは、なるべく公共交通機関を利用して下さい。
- (3) 大会プログラムは1部1,500円とし、エントリー選手(学校長出場認知書の記載選手)は全員購入とする。学校受付時に代金と引き換える。(競泳・飛込) 水球の参加チームは2部を無償配布する。なお、決勝については、スタートリストを1部100円で販売する。
- (4) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側にて行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を携帯すること。
- (5) 出場選手は必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は選手の行動について責任を負うものとする。
- (6) 競泳会場における各県の控所は、5月の代表者会議において抽選決定した場所とする。
- (7) 二次要項等の大会情報は、(一社)石川県水泳協会HPに掲載しますので、随時ご確認ください。

18 全国大会参加資格

前記8(1)、(2)、(4)～(9)項の他、次の項によって参加資格を得たもの。

ア 競 泳

- (ア) 北信越大会において、各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。
- (イ) 北信越大会において、予選及び決勝を問わず別記全国大会への標準記録を突破した者、またはチーム。

なお、同タイムも含む

< (ア)、(イ)の確認事項 >

- 注1 個人種目では、必ずフラットレースで標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレー種目の第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。
- 注2 各県大会の記録で出場することは認められない。
- 注3 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。
- 注4 フリーリレー及びメドレーリレーは、北信越大会における予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補員1名を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。
- 注5 全国大会のエントリータイムは、北信越大会の予選・決勝のうちの速いタイムとする。

- (ウ) 北信越大会において、全国大会の出場資格を得なかった県は、最低男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各県の高等学校体育連盟及び加盟団体が推薦することができる。出場資格者が男女どちらか一方の場合は、出場資格がない方について1名1種目の推薦を認める。
※推薦は、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m、200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目で、北信越大会において全国大会の標準記録に最も近い記録のものとする。

- (エ) 選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、北信越大会に出場することができない場合は、北信越大会への出場を免除する。リレー種目についても、北信越大会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームは、同様の措置を適用する。ただし、その理由書(特別措置申請書)
また、リレー種目において、国際大会出場によるインターハイ辞退者が複数名含まれた場合、補欠を増やすことを可能とする。辞退者が2名の場合は1名、3名の場合は2名の増員を可能とする。但し、4名全員が辞退する場合は、予選競技参加者が不在のため補欠の増員は行わない。
但し、その理由書(特別措置申請書)を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門委員長に提出し、その後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門委員長は次の①～④へ提出すること。なお、届出者は、当該学校長とする。
① 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
② 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟会長
③ 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
④ 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

上記に関しての出場措置は、次のように行う。

- 1 個人種目について
 - (1) 北信越大会不出場、全国大会出場の場合は、北信越大会3位まで+派遣選手とする。
 - (2) 北信越大会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、北信越大会の出場者を3名とする。
 注 各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含めなければならない。
- 2 リレー種目について
 - (1) 当該年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する。(各個人の合計記録は認めない。)
 - (2) チームとしては、都道府県予選会、北信越大会には出場する。
北信越大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

(オ) 全国大会標準記録

種 目	男 子	女 子	
自 由 形	50 m	24.09	27.15
	100 m	52.45	58.81
	200 m	1:54.51	2:06.83
	400 m	4:03.47	4:26.41
	800 m	-----	9:11.13
	1500 m	16:14.25	-----
背 泳 ぎ	100 m	59.03	1:05.08
	200 m	2:08.74	2:19.56
平 泳 ぎ	100 m	1:04.42	1:12.84
	200 m	2:19.22	2:35.71
バ タ フ ラ イ	100 m	56.03	1:02.68
	200 m	2:04.05	2:18.19
個人メドレー	200 m	2:08.20	2:22.63
	400 m	4:33.44	5:02.46
フ リ ー リ レ ー	4×100 m	3:36.31	4:02.26
	4×200 m	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	4×100 m	3:56.68	4:26.16

※社会の情勢により、出場制限を行う場合がある。

イ 飛 込

- (ア) 北信越大会において各競技種目の第1位の者。
(イ) 北信越大会において以下に定める各競技種目の標準点数を突破した者。(同点可)
(ウ) 全国大会標準点数

種 目	男 子	女 子
飛板飛込(3m)	10演技 293.00	9演技 256.00
高 飛 込	9演技 259.00	8演技 231.00

全国大会特別措置

国際大会などの代表選手は、都道府県・北信越大会を経なくても出場できる。
選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、北信越大会に出場することができない場合は、北信越大会への出場を免除する。

ただし、その理由書(特別措置申請書)を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、次の①～④へ提出すること。

なお届出者は、当該校長とする。

- ① 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- ② 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟会長
- ③ 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- ④ 北信越高等学校体育連盟会長

ウ 水 球

- (ア) 北信越大会の成績によって上位2位までのチーム。
(イ) 地域大会において、災害や気象条件等により正式な出場権決定戦が実施できない場合は、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部の確認事項に基づき、関係するチームに不利益が被らないように試合条件を変更して出場権を決定することができる。
試合実施の可否については地域大会主管実行委員会において判断する。